

【火山調査研究推進本部設置後の取組実績】

- 火山調査研究推進本部ホームページの開設（4月1日）
- 火山本部ニュース（広報誌）の発刊（6月28日）
- 文部科学省広報誌「ミラメク」での火山調査研究推進本部の紹介（6月28日）
- 火山防災強化市町村ネットワークNEWSLETTERにおける火山調査研究推進本部の紹介（8月5日）
- 地震調査研究推進本部、防災科学技術研究所、気象庁、内閣府（防災担当）と連携した「こども霞が関見学デー」でのブース出展（8月7日～8日）
- 地震調査研究推進本部と連携した「気象庁・みなと科学館 夏休みこども見学デー」への展示協力（8月7日～8日）

【今後の取組予定】

- 内閣府（防災担当）及び火山防災強化推進都道府県連盟等と「『火山防災の日』制定記念イベント」を共催（8月26日）
- 地震調査研究推進本部と連携した「ぼうさいこくたい2024」でのセッション（10月19日～20日）
- 気象庁等と連携した「火山に関する地域講演会」の開催（令和6年度内開催予定で調整中）
- 総合的な評価に関する広報を順次実施



ミラメク
ポイント解説 文部科学省の注目度の高いトピックについて解説します

火山調査研究を一元的に推進 活火山法改正で、火山本部始動！

point!

- 2024年4月、文部科学省に火山調査研究推進本部を設置。
- 政府として火山に関する調査研究を一元的に推進。
- 火山専門人材の育成とあわせて、活動火山対策をさらに強化。

日本は117の活火山を抱える世界有数の火山国で、過去に何度も大規模な被害を招いてきました。そのため、これまで大学や研究機関、行政機関が、火山に関する調査研究や火山防災人材の育成を進めてきました。しかし、火山噴火による被害を減らすためには、噴火の時間や位置、規模、噴火の噴火の予測することが重要で、火山調査研究が一元的に進められることが、調査研究をさらに進めることが必要です。

●世界有数の火山国、日本

日本には117の活火山があり、世界の火山の約7%を占める火山国です。火山は、風景や観光など、私たちの生活に身近な存在です。しかし、火山噴火による被害は、人命や財産に大きな被害をもたらすことがあります。火山調査研究を一元的に進め、火山防災対策をさらに強化することが必要です。

火山調査研究推進本部は、火山調査研究を一元的に進め、火山防災対策をさらに強化することが必要です。



こども霞が関見学デーにおいて、硫黄島噴火による火山弾に触れる子供たち



火山調査研究推進本部は、火山調査研究を一元的に進め、火山防災対策をさらに強化することが必要です。